

移民流入がスペインの貿易に与える効果の分析

東京外国語大学外国語学部
欧米第二課程スペイン語学科4年
軽部千幸

Introduction 1

• スペインの移民流入の歴史

- 1985年 外国人法 移民を短期的なものとして捉え、規制する意味合いが強かった
- 1996年 外国人法改正 外国人に一定の主権が認められる
- 1998年 スペインに住む外国人の権利と自由の法 (Law on the Rights and Freedoms of Foreigners in Spain and their Integration, Law 4/2000) 可決 政治的・社会的権利の付与
- 2001年 The Law 8/2000 就労許可・移住許可、ビザの発行
- 2001年 Greco Plan 1. スペインに望ましい現象として、移民をグローバル/調整的に設計
2. 移民とその家族を、スペインの成長の貢献者として統合
3. スペイン 社会で平和に移民と共存するための受け入れ規則作成
4. 難民の保護規定のマネジメント
- 1985年、91年、96年、2000年、2001年、2005年と4度にわたる移民の正規化
 - 2000年にエクアドル・コロンビア・モロッコと、2000年にルーマニア・ポーランドと、2003年にブルガリアと相互移民協定を締結

→これらの政策からスペインが国として移民に対し積極的な姿勢をとってきており、また移民にとっても比較的望ましい環境であることがわかる。

Introduction 2

スペインにおける移民の出身国と スペインを選ぶ理由

東欧(ルーマニア・ブルガリア)

→経済的要因

ラ米(アルゼンチン・エクアドル・コロンビア)

→経済的要因

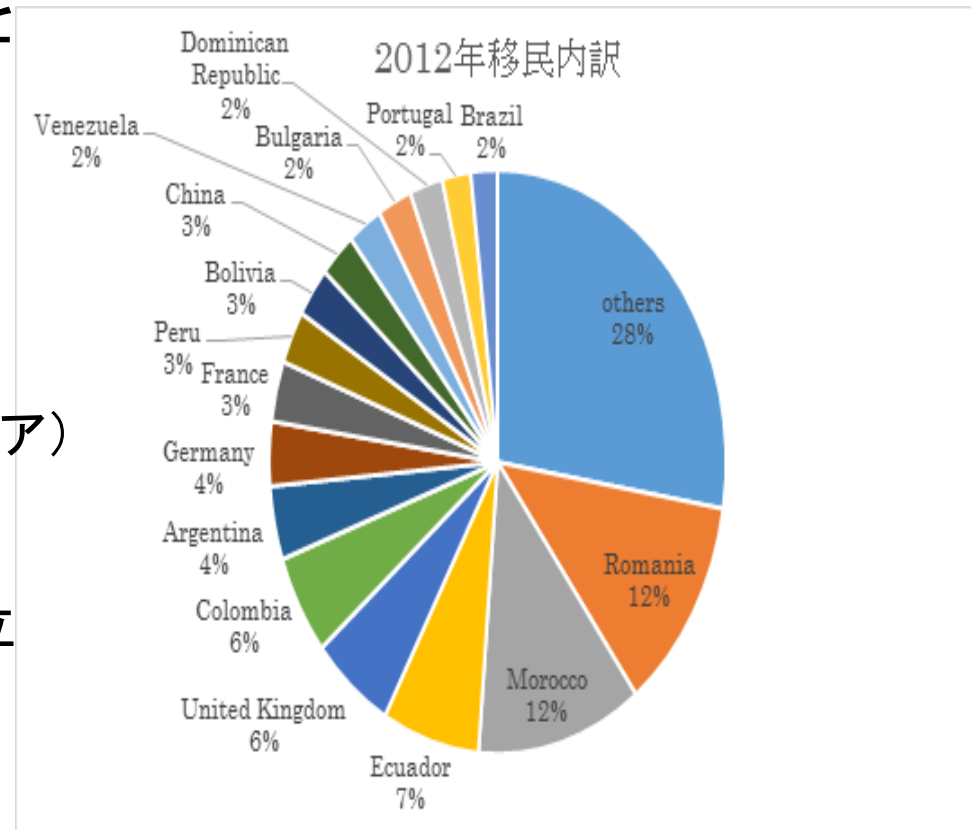
言語の類似性(スペイン語)

移民ネットワーク(ディアスポラ)の確立

アフリカ(モロッコ)

→経済的要因

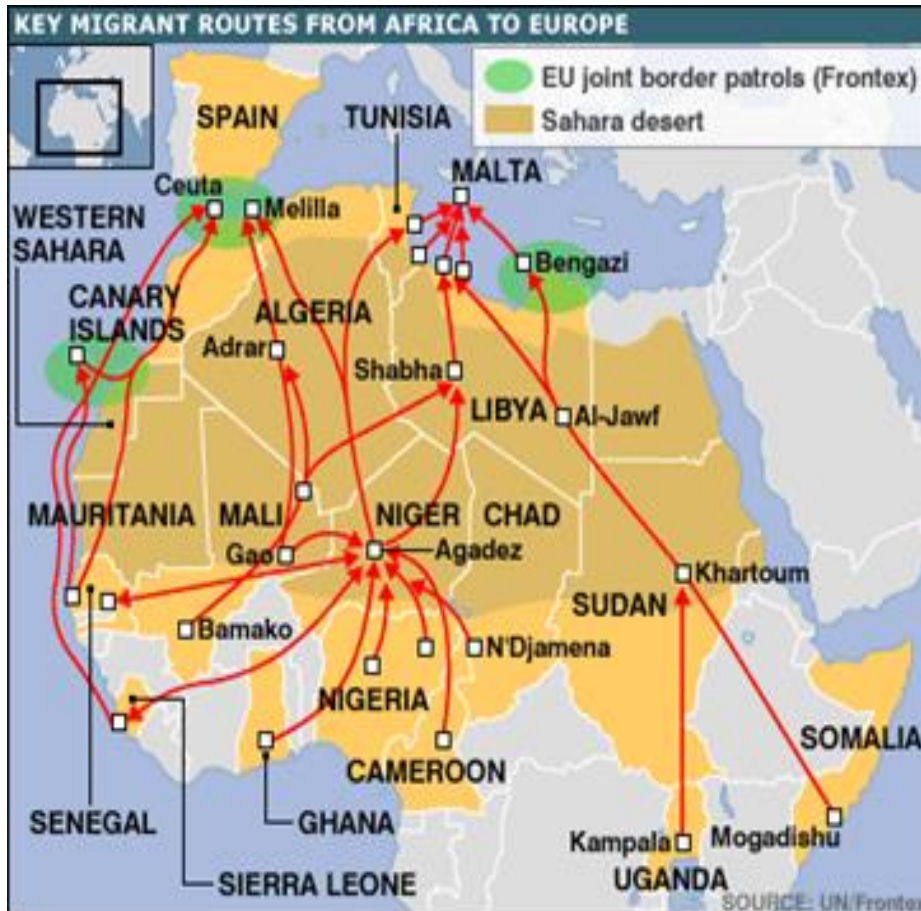
不法移民の存在



スペイン、ユーロ圏とサブサハラアフリカ、ルーマニア、ブルガリア、ラテンアメリカの 経済比較

Series Name	Sub-Saharan Africa	Romania	Bulgaria	Latin America & Caribbean	Spain	Euro area
GDP per capita	1519.075782	8139.146673	6580.813875	8921.709283	30736.00228	37810.39975
Life expectancy	55.35942225	73.45853659	73.51219512	74.15776055	81.62682927	80.86593582
GDP per person employed	3902.657775	11348	18541	17566.36314	41483	44847.00707
Population growth	2.704660805	0.593959184	0.658275447	1.136996771	0.460408305	0.251506263
School enrollment, primary	98.91139984	96.72569	103.20182	110.844902	105.47834	104.5753098
Internet users	10.1586952	39.93	46.23	34.70559067	65.8	71.10385974
Time required to start a business	44.93478261	9	18	57	52	13.97058824

アフリカからスペインへの不法入国ルート



① 西アフリカ港ルート

目的地: カナリア諸島

経由: リベリア、シエラレオネ、ギニア、ギニアビサウ、セネガル、ガンビア、モーリタニア、西サハラからモロッコの北岸

② 西サハラルート

目的地: カナリア諸島

経由: マリ、モーリタニア、西サハラ/南モロッコ

③ 中央サハラルート

目的地: カナリア諸島、スペイン、イタリア

経由: ニジェール、北モーリタニア、西サハラ/南モロッコ・北モロッコ・チュニジア・リビア

Introduction 3

移民が送出国にもたらす効果

- ✓ 送金額 スペイン→ルーマニア 1069million\$ (2012)
 スペイン→ブルガリア 206million\$ (2012)
 スペイン→ラテンアメリカ 4billion\$ (2012)

- ✓ 送金のメリット
 - 1 お金が直接家族に届く
 - 2 政治や経済状況に左右されない
 - 3 貧困削減に寄与する

- ✓ 送金のデメリット 1 頭脳流出の問題
 2 オランダ病

Introduction 4

移民がスペインにもたらす効果

1998年～2008年

純移民の増加

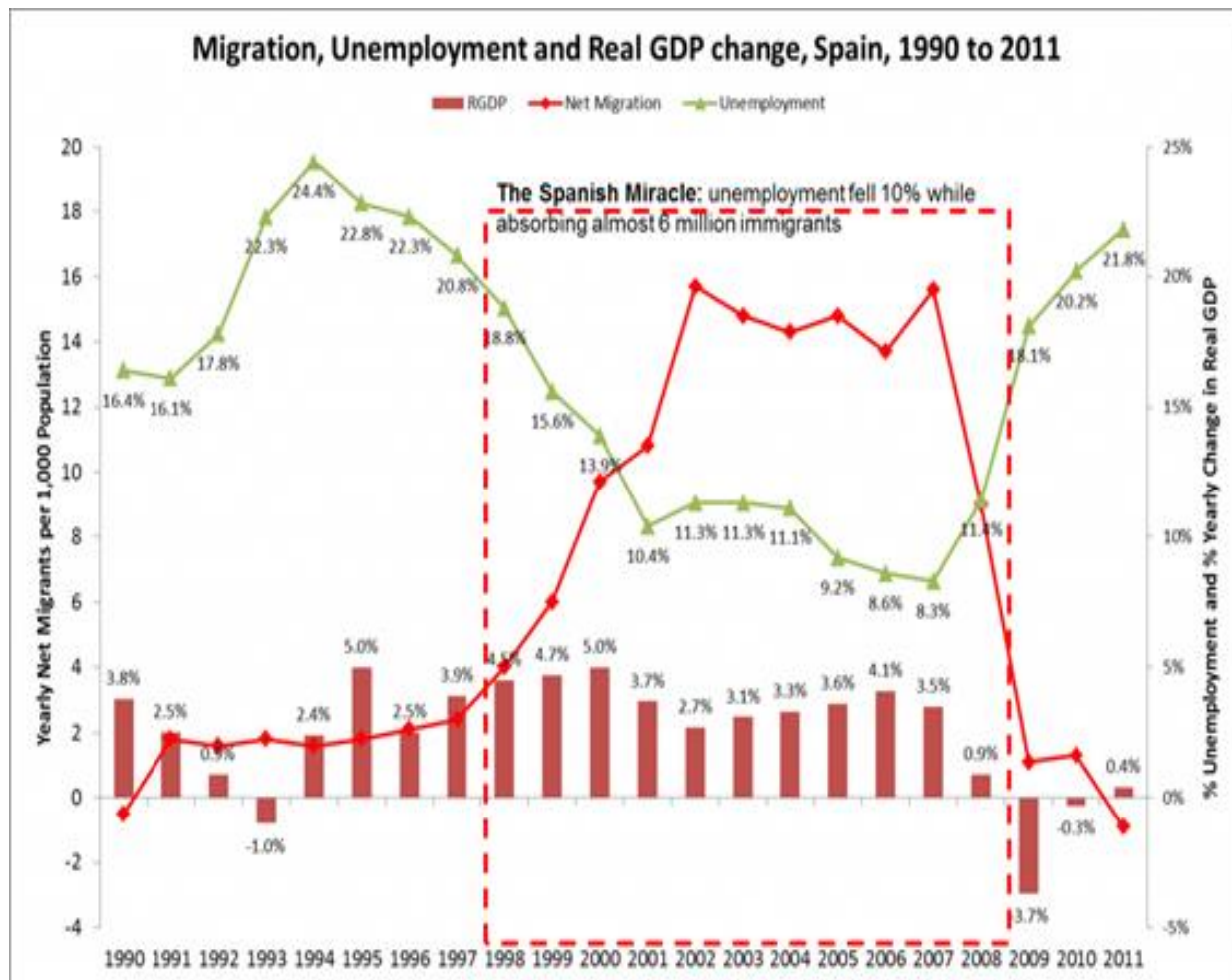
→ 勤労人口の維持、増加

→ 低い失業率と高い経済成長率

実質経済成長率3.8%

失業率 10パーセント低下

移民受け入れ 600万人



移民と貿易の関係

1. 移民増加国（モロッコやアルジェリア、ブルガリア、ルーマニア）からの輸出入の増加

スペインの輸入相手国ランキング 35か国をみると・・・、

モロッコ 輸出 16(1995)→12(2011) 輸入 29→21

アルジェリア 輸出 18→17 輸入 32→15

ブルガリア 輸出 ランク外→34位

ルーマニア 輸出 ランク外→33位

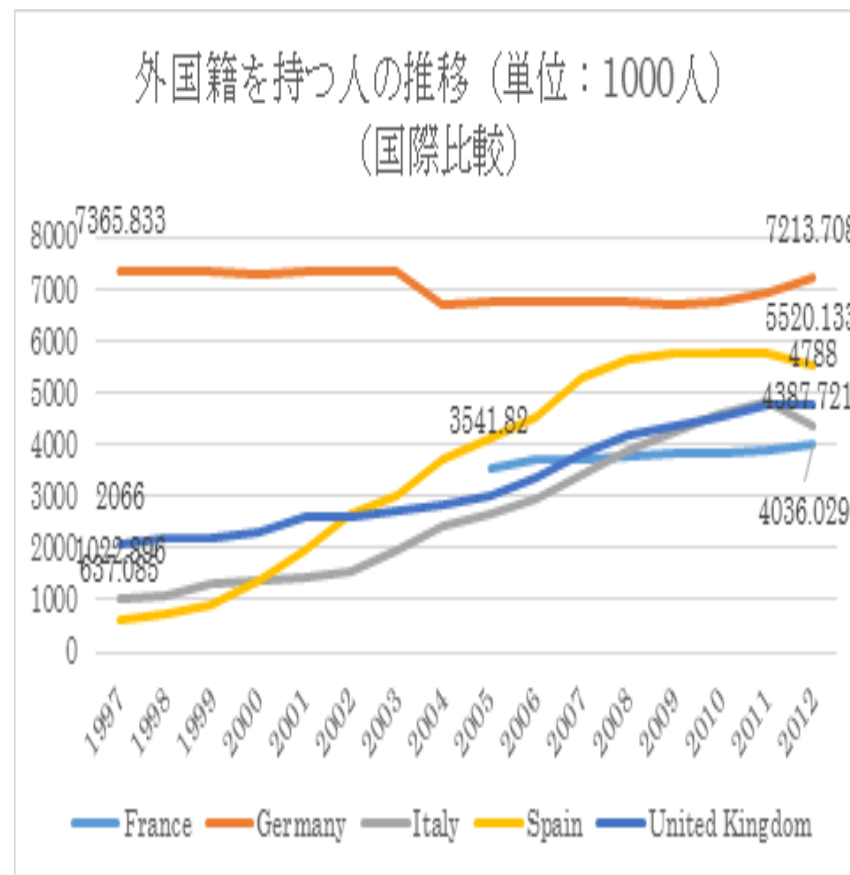
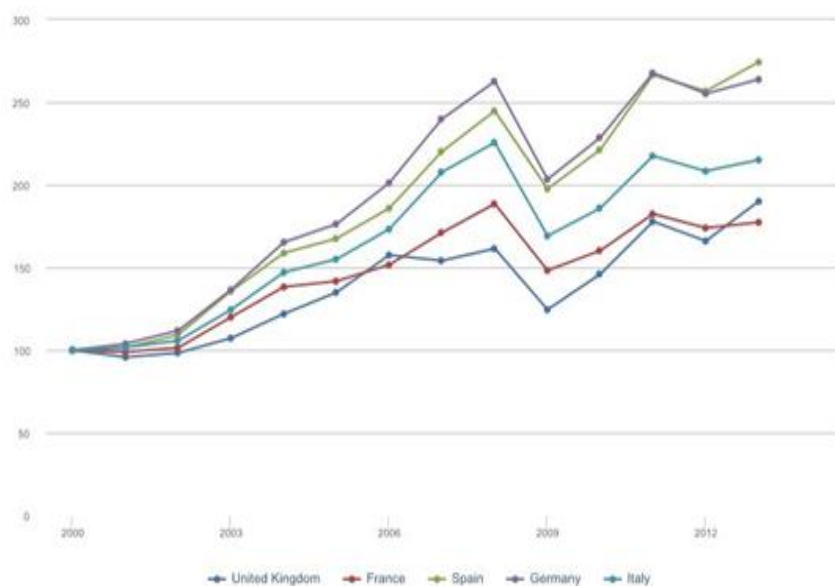
2. ドイツ、スペイン、イタリアはフランス、イギリスに比べて貿易総額の上昇幅が大きい。

スペイン、イタリアはこの20年急速に移民を受け入れており、ドイツは移民増加率は高くはないものの移民受け入れ数のもっとも多い国である

⇒以上の2点から、移民の存在が貿易にかかるコストを低下させ、受入国と送出国の間の貿易を加速させる、という仮説を立てた。

左図 輸出額の変化の英仏西独伊比較

右図 外国籍を持つ人の推移の英仏西独伊比較



先行研究

❖ Girma&Yu(2000)

対象年 1981年から1991年

対象国 26のイギリス連邦と22の非イギリス連邦諸国

結果 非イギリス連邦諸国からの移民のみが貿易に対してプラスの効果

❖ Shan Jiang(2007)

対象年 1998年から2004年

対象国 カナダと125か国の貿易相手国

結果 移民と貿易の外延(貿易品目の数)には正の関係
一方、移民と貿易の内延(1品目あたりの利益額)
には正の関係なし。

製品当たりの利益に正の効果が見られなかったことから、
移民の情報が主に可変コストではなく、固定コストの削減
に働きかけていると結論。

❖ Peri&Requena(2009)

対象年 1993年から2008年

対象国 スペインの50の州と77の貿易相手国

結果 移民は貿易にプラスの効果。

また、アフリカ、アジア、ラテンアメリカ、東欧、中東を比較したときに、アフリカや東欧、中東で有意に移民の効果が観測できたことから、より馴染みのない国の移民のほうが貿易に与える効果が強いと結論。

❖ Dunlevy(2004)

対象年 1990年～92年の平均

対象国 16のアメリカの州と87の外国

結果 移民は貿易にプラスの効果。また、Girma&Yuの仮説の検証のためにスペイン語、英語ダミーを導入した結果、英語・スペイン語の移民は新しい情報をあまりもたらさないことから貿易に与える効果が少ない・もしくは無であることを検証している。

Model & Method

$$\ln \text{Trade}_{ij} = \alpha + \beta_1 \ln \text{GDP}_i \text{GDP}_j + \beta_2 \ln \text{Dist}_{ij} + \beta_3 \ln \text{IM}_{ij} + \beta_4 \text{Adjacent}_i + \beta_5 \text{Lang}_i$$

- 変数

Trade_{ij} スペイン(j)と貿易相手国iとの輸出または輸入

$\text{GDP}_i \text{GDP}_j$ スペインと貿易相手国のGDPの積

Dist_{ij} スペインと貿易相手国の距離

Adjacent_i i国がスペインと隣り合っているか(隣り合う=1)

Lang_i i国がスペイン語を話すか(話す=1)

データ

対象 スペインとその貿易相手国93か国

対象年 2003年から2012年

- スペインへの輸出、輸入額
UN Comtrade Database
- スペインと貿易相手国のGDP
World Development Indicators
- 距離 (Dist), 近接性ダミー (Adjacent), 共通言語ダミー (Lang)
Centre d'Études Prospectives et d'Informations
Internationales (CEPII)
- 移民ストックIM
OECD International Migration Database

予想結果

1. GDP +

経済規模が大きいほど財の生産量・消費量が大きいためと考えられるので、輸入/輸出額が大きくなる。

2. Dist -

距離が大きいほど輸送費は高くなり、貿易の障壁となるため、輸出/輸入額は減る。

3. Adjacent +

隣り合っている国は特にモノの移動にかかるコストが小さいため、輸出/輸入が多い。

4. Lang +

言語が同じであれば、その国に関する情報を得るのが容易である。よって言語の類似性は輸出/輸入を増やす。

5. Immigrant +

移民が多いほど貿易相手国の貿易制度や、市場、ニーズに関する情報を得やすくなるため、貿易がしやすくなる。そのため移民が多いほど輸出/輸入も増える。

結果1

(93か国 独立変数:輸入 回帰分析)

概要								
回帰統計								
重相関 R	0.900774							
重決定 R2	0.811393							
補正 R2	0.808717							
標準誤差	1.191101							
観測数	930							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	割された分散	有意 F			
回帰	13	5590.713	430.0549	303.1285	0			
残差	916	1299.549	1.418721					
合計	929	6890.262						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	-30.9039	1.093504	-28.2614	7.5E-127	-33.05	-28.7579	-33.05	-28.7579
lnGDPij	1.071857	0.021589	49.6475	5.5E-262	1.029487	1.114227	1.029487	1.114227
lnIMij	0.069083	0.026464	2.61045	0.00919	0.017146	0.12102	0.017146	0.12102
lnDistij	-0.82354	0.066627	-12.3604	1.44E-32	-0.95429	-0.69278	-0.95429	-0.69278
Adjacenti	0.132223	0.291395	0.453757	0.650111	-0.43966	0.704102	-0.43966	0.704102
Langi	0.821003	0.137472	5.972144	3.35E-09	0.551206	1.090799	0.551206	1.090799

結果2

(93か国 独立変数:輸出 回帰分析)

概要								
回帰統計								
重相関 R	0.950268							
重決定 R2	0.903009							
補正 R2	0.901632							
標準誤差	0.662254							
観測数	930							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	割された分散	有意 F			
回帰	13	3740.272	287.7132	656.0098	0			
残差	916	401.7399	0.438581					
合計	929	4142.012						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	-14.4824	0.61333	-23.6127	1.17E-96	-15.6861	-13.2787	-15.6861	-13.2787
lnGDPij	0.835063	0.012038	69.36919	0	0.811438	0.858688	0.811438	0.858688
lnIMij	-0.01308	0.014714	-0.88871	0.374394	-0.04195	0.015801	-0.04195	0.015801
lnDistij	-1.22387	0.037045	-33.0374	3.1E-158	-1.29657	-1.15116	-1.29657	-1.15116
Adjacenti	0.777124	0.162034	4.796044	1.89E-06	0.459122	1.095126	0.459122	1.095126
Langi	1.16907	0.076435	15.29487	3.35E-47	1.019061	1.319079	1.019061	1.319079

結果3

(93か国 独立変数:輸出 回帰分析(変数:言語を除く))

概要								
回帰統計								
重相関 R	0.937194							
重決定 R2	0.878333							
補正 R2	0.876741							
標準誤差	0.741323							
観測数	930							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	割された分散	有意 F			
回帰	12	3638.065	303.1721	551.6629	0			
残差	917	503.9469	0.54956					
合計	929	4142.012						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	-14.6937	0.680439	-21.5944	6.16E-84	-16.0291	-13.3583	-16.0291	-13.3583
lnGDPij	0.770716	0.01259	61.2152	0	0.746007	0.795425	0.746007	0.795425
lnIMij	0.10832	0.013866	7.81218	1.53E-14	0.081108	0.135532	0.081108	0.135532
lnDistij	-0.90293	0.034174	-26.4217	7.7E-115	-0.97	-0.83586	-0.97	-0.83586
Adjacenti	0.93682	0.180986	5.176198	2.78E-07	0.581625	1.292015	0.581625	1.292015

結果4

(76か国 独立変数:輸入 回帰分析)

概要									
回帰統計									
重相関 R	0.905653								
重決定 R2	0.820208								
補正 R2	0.81732								
標準誤差	1.247515								
観測数	760								
分散分析表									
	自由度	変動	分散	割された分散	有意 F				
回帰	12	5303.548	441.9623	283.9839	1.1E-268				
残差	747	1162.551	1.556293						
合計	759	6466.099							
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%	
切片	-32.1305	1.188195	-27.0414	8E-113	-34.4631	-29.7979	-34.4631	-29.7979	
lnGDPij	1.088134	0.023712	45.88929	1.5E-219	1.041584	1.134685	1.041584	1.134685	
lnIMij	0.074655	0.03035	2.459804	0.014127	0.015074	0.134236	0.015074	0.134236	
lnDistij	-0.78325	0.071445	-10.963	4.9E-26	-0.92351	-0.643	-0.92351	-0.643	
Adjacenti	0.141776	0.305793	0.463633	0.643046	-0.45854	0.742091	-0.45854	0.742091	

結果5

(76か国 独立変数:輸出 回帰分析)

概要								
回帰統計								
重相関 R	0.951195							
重決定 R2	0.904772							
補正 R2	0.903242							
標準誤差	0.700125							
観測数	760							
分散分析表								
	自由度	変動	分散	割された分散	有意 F			
回帰	12	3478.932	289.911	591.4437	0			
残差	747	366.1608	0.490175					
合計	759	3845.092						
	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	-14.3486	0.667045	-21.5107	3E-80	-15.6581	-13.0391	-15.6581	-13.0391
lnGDPij	0.82438	0.013294	62.01043	8.3E-297	0.798281	0.850478	0.798281	0.850478
lnIMij	0.007634	0.017034	0.448147	0.654177	-0.02581	0.041073	-0.02581	0.041073
lnDistij	-1.19722	0.040096	-29.8589	1.5E-129	-1.27593	-1.1185	-1.27593	-1.1185
Adjacenti	0.779989	0.17161	4.545114	6.4E-06	0.443093	1.116885	0.443093	1.116885

考察

1. 経済規模が大きいほど財の生産量・消費量が大きいと考えられるので、輸入/輸出額が大きくなる。→確認できた。
2. 距離が大きいほど輸送費は高くなり、貿易の障壁となるため、輸出輸入額は減る。→確認できた。
3. 隣り合っている国は特にモノの移動にかかるコストが小さいため、輸出/輸入が多い。
→輸出のみ確認。輸入には大きな影響を与えず。
4. 言語が同じであれば、その国に関する情報を得るのが容易である。よって言語の類似性は輸出/輸入を増やす。
→確認できた。
5. 移民が多いほど貿易相手国の貿易制度や、市場、ニーズに関する情報を得やすくなるため、貿易がしやすくなる。そのため移民が多いほど輸出/輸入も増える。
→輸入のみ確認できた。

結論

- ・輸出に関しては移民が貿易に与える効果を確認できなかったが、輸入に関してのみ移民の効果を確認
 - 移民が貿易相手国の情報へのアクセスを容易にし、貿易にかかるコストを低下させる可能性
- ⇒言語的異質性や距離といった大きな貿易障壁を乗り越える可能性が移民にはある。

先進国への提言

移民は労働力、消費の主体、社会保障の担い手となるだけでなく
貿易を促進する可能性も秘めている

途上国への提言

移民のネットワークが先進国への輸出を強化
→送金以外でも途上国経済にプラスになっている可能性

参考文献

- OSCE Office for Democratic Institutions and Human Rights、LEGISLATION ONLINE
<http://www.legislationline.org/topics/country/2/topic/10/subtopic/33>, 2014年12月17日閲覧
- Fernando Betancor, Common Sense, Spain's Demographic Woes
<http://www.fdbetancor.com/2013/05/23/spains-demographic-woes/>, 2014年12月17日閲覧
- Time, Spain Tries to Buy Out Immigrants,
<http://content.time.com/time/world/article/0,8599,1852000,00.html>, 2014年12月17日閲覧
- Migration Policy Institute, Spain: Forging an Immigration Policy,
<http://www.migrationpolicy.org/article/spain-forging-immigration-policy/>, 2014年12月17日閲覧
- BBC news,
- Africa to Europe Migration, <http://news.bbc.co.uk/2/hi/europe/6228236.stm>, 2014年12月17日閲覧
- Central Intelligence Agency, CIA The World Fact Book,
<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/sp.html>, 2014年12月17日閲覧
- International Organization for Migration, <http://www.iom.int/cms/en/sites/iom/home/where-we-work/europa/european-economic-area/spain.html>, 2014年12月17日閲覧
- NPR.org, Many Latin Americans Opting for Spain,
<http://www.npr.org/templates/story/story.php?storyId=12555928>, 2014年12月17日閲覧
- Pew Research Center, Pew Research Hispanic Trends Project, Sources of Remittances to Latin America,
<http://www.pewhispanic.org/2013/11/14/3-sources-of-remittances-to-latin-america/>, 2014年12月17日閲覧
- 官庁エコノミストのブログ、<http://economist.cocolog-nifty.com/blog/2011/02/remittances-ffb.html>、2014年12月27日閲覧
- The World Bank, World Development Indicators、<http://data.worldbank.org/data-catalog/world-development-indicators>, 2014年12月11日閲覧
- OECD, OECD Statistics, <http://stats.oecd.org/>, 2014年12月11日閲覧
- CEPII, GeoDist, http://www.cepii.fr/CEPII/en/bdd_modele/presentation.asp?id=6, 2014年12月11日閲覧
- UN Comtrade, UN Comtrade Database, <http://comtrade.un.org/>, 2014年12月11日閲覧

- Arango, J. (2013) Exceptional in Europe? Spain's Experience with Immigration and Integration, 2013 report, Migration Policy Institute
- González, A. (2013), La nueva emigración española. Lo que sabemos y lo que no, Zoom Político 2013, No.18
- White, R. and B, Tadesse (2010), CULTURAL DIVERSITY, IMMIGRATION AND TRADE: A STUDY OF NINE OECD HOST COUNTRIES, JCIFBE (2010) , Volume 3, No. 1, pp. 75-102
- Girma, S. and Z. Yu (2000), The Link between Immigration and Trade: Evidence from the UK, Research Paper 2000/23, CENTRE FOR RESEARCH ON GLOBALISATION AND LABOUR MARKETS
- Jiang, S. (2007), Immigration, Information, and Trade Margins, Immigration, Information, and Trade Margins, University of Calgary
- Hatzigeorgiou, A. (2010), Journal of Economic Integration, No.15, pp.376-402, Sejong University

- Faustino, H. and N. Leitão (2008), Using the Gravity Equation to Explain the Portuguese Immigration-trade Link, Working Papers Department of Economics, School of Economics and Management, Department of Economics, University of Lisbon
- KIM, C. (2009), THE ROLE OF HUMAN CAPITAL IN NETWORKS EFFECTS: EVIDENCE FROM U.S. EXPORTS, Sonoma State University
- Peri, G. & F. Requena (2009), The Trade Creation Effect of Immigrants: Testing the Theory on the Remarkable Case of Spain, CReAM Discussion Paper No 15/09
- Head, K. and J. Ries (1998), Immigration and Trade Creation: Econometric Evidence from Canada, Canadian Journal of Economics, vol. 31, No.1, pp.47-62
- Tadesse, B. and R. White (2013), Do African Immigrants Enhance Their Home Nations' Trade With Their Hosts?, The Journal of Developing Areas, vol.47, No.2, pp.199-228

- Briant, A., Combes, P., and M. Lafourcade(2009), Product complexity, quality of institutions and the pro-trade effect of immigrants. PSE Working Papers n2009-06. <halshs-00566772>
- 森田有貴(2006)、スペインにおける移民政策：ヨーロッパ諸国との比較において、龍谷大学大学院法学研究第8号、pp.107 - 128
- Massey,D., Arango,J., Hugo, G., Kouaouci, A., Pellegrino,A., and J.Taylor(1993), Theories of International Migration: A Review and Appraisal ,Population and Development Review, Vol. 19, No. 3, pp. 431-466
- Hausmann, R., Hidalgo, CA., Bustos, S., Coscia, M., Chung, S., Jimenez, J., Simoes, A., and M. Yildirim(2011), The Atlas of Economic Complexity. Puritan Press. Cambridge MA.
- Dunlevy, A. (2004), Interpersonal Networks in International Trade: Evidence on the Role of Immigrants in Promoting Exports from the American States*, Working Paper
- 田中 鮎夢(2012)、「重力方程式」、RIETI 連載コラム「国際貿易と貿易政策研究メモ」No. 13
- 田中 鮎夢(2012)、「重力方程式の理論と新しい推定方法」、RIETI 連載コラム「国際貿易と貿易政策研究メモ」No. 14
- 早瀬保子・大淵寛(2010)、『世界主要国・地域の人口問題』、原書房